

函館市医師会看護・リハビリテーション学院
令和5年度学校関係者評価委員会

令和6年3月25日(月)
単位・進級認定会議後
於)五稜郭キャンパス講堂

出席者：学校関係者評価委員(外部委嘱者)8名
学院関係者 学院長他8名

[報告事項]

1. 学事・庶務報告
2. その他

* 各担当者より報告

[協議事項]

1. 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画(案)について
2. 令和5年度決算(見込)及び令和6年度予算(案)について
3. 短・中・長期計画(案)について
4. その他

* 主な内容

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、引き続き感染は拡大傾向で、実習施設においても大変厳しい教育環境であった。看護学科は、無事に3期生が卒業し、看護師不足のなか地域医療を担う看護師としてより一層の活躍を願うところである。一方、理学・作業療法学科の2学科は2期生の卒業生を無事輩出し、今後多くのセラピストが地域で活躍することを期待している。

学院運営に関しては、教育の質を担保すべく対面授業の継続(時に遠隔授業、ハイブリッド型授業)に関し評価をいただいた。また、コロナ禍でまだまだ感染拡大が予想される中、実習施設のクラスター、学生の感染や濃厚接触による代替策(学内実習等)を講じての対応に理解をいただいた。

各学科において、市内はもとより、道南圏を含めた地域医療に貢献すべく、向学心に富む優秀な学生確保、また、最終目標でもある国家試験合格に向け教職員が一丸となり教育、指導に取り組んで参りたい。

以上